



# 市民との意見交換会



▲竹田南部地域(宮砥分館)

## ■目次

### 市民との意見交換会

竹田東部地域 .....	2
竹田西部地域 .....	4
竹田南部地域 .....	6
竹田北部地域 .....	8
荻地域 .....	9
久住地域 .....	10
直入地域 .....	12
第1回臨時会議決結果 .....	12

# 市民目線の議会をめざして

議会改革調査特別委員会

委員長 佐田 啓二



竹田市議会では、昨年3月に議会と議員のあるべき姿を示した議会における最高規範となる「竹田市議会基本条例」を制定しました。

私たち議員に課せられた使命は、市民は市政に対し何を望み、期待しているかを把握し、市政に反映させることでもあります。その手段のひとつが、この「市民との意見交換会」でありました。一回目の意見交換会では「是非、次回も開催してほしい」との声が参加者の80%の方から寄せられたことから、2回目を行うことといたしました。今回も多くの意見、提言、感想を寄せていただきました。議会に期待することとして最も多かった事項は、執行部に対しての監視機能と議会の独自性の発揮でありました。議会は、そのような声に応えるために議員全員からな

る「議会政策協議会」を設置しその研究専門機関として「議員政策研究会」を創りました。市の重要案件や方針について議論や研究を深め、議会としての政策・方針を市政に反映させてまいります。今回の意見交換会で頂いた意見・提言等は、精査し、回答できるものは、この「特集号」で対応させていただきます。しかし、市の根幹にかかわる重要な件については、多少の時間をいただき研究・検討を加え、議会としての方針を出し執行部に案を示していきたいと思っております。

議会は、今後も市政の発展に向け真摯に取り組んでまいります。市民の皆様には、引き続き議会に声を届けていただきますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

## 竹田東部（竹田・岡本・明治・豊岡）地域

平成25年11月11日(月) 午後7時～

参加議員



岩屋 千利 (班 長) 佐藤 美樹 和田 幸正 山村 英治 後藤 憲幸 中村 憲史



竹田市総合社会福祉センター

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
意見交換会の開催時期を考えてほしい。また、もっと早く周知してほしい。	平成24年は4月に行いましたが、久住地域では田植えの繁忙期ということでした。25年度はその反省を踏まえ11月に行いましたが、今度は畑作地帯から今が繁忙期だ、他の2会場では、TOP懇談会の直後だという声がありました。できるだけ地域の実情に配慮した時期ならびに時間帯についても検討いたします。また、周知については市報、議会だより、全世帯への文書配布、ケーブルテレビ、告知放送を行いました。それに加え分館長、自治会長にもお願いし地区住民に呼びかけていただくなど、できるだけ多くの皆様に参加いただくよう早目の周知・徹底を図ってまいります。
議会基本条例の制定の経緯はどうであったか。また、条例は市民が閲覧できるのか。	議会は市長との二代表制の一翼を担う重大な責任があります。市長等執行部に対する行政監視、並びに政策立案、立法といった機能をしっかり果たし、市民の福祉向上と市政の発展のため、全力をあげて取り組むことを誓い、幾多の議論・研修を重ね、議会と議員の最高規範としての議会基本条例を全議員の総意により制定しました。条例は自由に閲覧できます。市のホームページでも閲覧できます。

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
ケーブルテレビでの再放送の回数は増やせないか。	一般質問当日は、生中継で放送しています。一般質問の再放送は、1週間後の月曜日から金曜日の午後8時からと午後9時から、それぞれ一人1回のみ放送しています。ご要望の回数については、担当課と協議の上2回放送を検討します。
合併特例債について、次世代に負担を残さないよう考えてほしい。	将来の財政運営や次世代に大きな負担を残さないよう十分に配慮しながら、竹田市の公共施設整備計画等の実施に当っては、慎重に取り組んでいきたいと考えています。
永田自転車跡地について、コミュニティセンター建設まで駐車場として市民に開放してほしい。	市民生活の利便性の向上と、中心市街地の振興を図るべく、平成25年12月21日より開放されています。
経常収支比率について、国の指導数値の設定はあるのか。	特に国の指導数値は示されていません。現在の竹田市の数値は91.8%、県内では中位です。理想としては、70%～80%といわれています。
水害後、被災地の現状を議員は把握しているか。 また、復旧まで作付けできないことに対する補償はどうなるか。	10月末現在では、公共土木災害で1件未発注(こうとう様前の稲荷橋)、残りは全て発注を終えています。現在の進捗率は76%となっており26年3月までに全ての工事が完成の予定です。 農地・農業施設災害の工事発注は10月末現在98.4%で、未発注については関連する工事があるものや自力復旧したため発注できないものです。平成25年度は内畦畔を作る等、地元の努力によりほぼ80%の農地で作付けができました。26年度の作付けまでには、被災農地が復旧できるように進めているところです。 補償については県下の自治体で実施しているところはありません。竹田市では農地、農業用施設共に地元負担金の2分の1を市が補助をしています。
県道である内に竹田玉来線の街路灯設置と電線地中化を進めてほしい。	都市計画道路竹田玉来線は、25年7月26日の第3回竹田市都市計画審議会に於いて、該当部分の廃止が承認されているため県道としての事業化はできません。今後は市道として町づくりの観点から実施について検討されていきます。
三砂地区の旧井田医院前に横断歩道を設置してほしい。	横断歩道設置は歩行者の利用頻度、車両の通行量、道路の形状などから判断し、難しいものと思われます。
岡城跡に洋式のトイレがなく、足の不自由な観光客の方が困っていた。トイレの整備が必要ではないか。 岡城本丸付近にトイレを設置してほしい。	「但見屋敷付近のトイレに洋式がないので、設置していきます。本丸付近には、平成27年度以降に男女共に洋式を備えたトイレの設置を予定しています。」 議会としては、早期に洋式トイレの設置ができるように、要望を上げていきます。
岡城会館を取り壊してそのままである。観光地として、もっと整備が必要ではないか。	「岡城ガイダンスセンター(仮称)については、3年後を目途に提案する予定です。二の丸の茶店跡地については、用地購入の交渉中にあります。交渉が成立すれば、休憩所として整備していく予定です。」 議会としては、観光地としての岡城の整備についての要望を引き続き行うと共に、整備についての提言もしていきます。
登城料金を無料にして、もっと市民が岡城に足を延ばすようにしてほしい。	市民の皆様には、春と秋の家族無料券の発行の他にも、年間パスポートを作成することも考えられています。登城料金については、岡城整備のための資金源として、料金徴収は引き続き行うことが望ましいと考えています。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

- 市内に各施設の見所の案内板が少ない。私はこの2週間に6人の方から場所を問いかける。何とか早く道案内を少なくなるような対策をお願いします。  
せっかくの意見交換会ですので、筆記も必要です。机がほしいです。
- 資料は数字のみでなくグラフ等で解り易いものとしてほしい。  
竹田地区のコミュニティホール等の計画には議会も積極参加され、市としてどうあるべきか提案してほしい。

竹田の行くべき方向はどうしなければいけないのか。議会もしっかり検討中と考えますが、その事項等の意見交換はどうですか。

- 各議員が数ある課題の中で、最優先課題を明確にして、何から解決していくのが良いのかを市民に伝えてほしい。10年先、20年先の竹田市のイメージをどのように描いているのか。数字だけでなく確実なイメージの上に立った具体像が見えないので、これを少しは見えるようにしたい。
- 大正公園にトイレ等の整備。竹田荘公園の整備と併せてお願いします。
- 通学道路の安全性の確認は早急をお願いします。  
住みよい街にすることのみで、色々な問題点を考えて下さい。
- 環境浄化、ガードレールが汚い。何とか市民できれいにする方法を考えて下さい。  
竹田市は全国の人々から多くの恩恵をこうむりながら生きている。そのことに気づかされると、竹田市の生き方が他地域に何らかの恩返しができるような施策を持っているか。  
西南戦争犠牲者についての供養が136年たっても、市あげて太平洋戦、日露戦、日清戦と共に内戦とはいいいながら、もうきちんとした対策をとり、節目をむかえるようにすることは、竹田が前進するために必要である。  
老化のせいであれもやめよう、これもやめよう、この風潮は危険だと思う。老若男女が心をつ一つにして、自分ができることからやるような雰囲気醸成されるようにしたい。このことに関連して、現物支給の制度も復活ができないか。
- 早めの日程連絡を。
- この会を今後も定期的に催していただけることをお願いいたします。
- 数字の根拠をもう少し事前に確認しておいた方が良いでしょう。

### 【問7「議会に何を期待していますか」の回答】

- 竹田の高齢化の実態等、行政の担当者からはそれなりにデータがあります。目の前の対策、施策はもちろん、100年の計画が必要ではと考える。竹田がなくなるのは非常にさみしい事である。
- 議会の機能と市民の期待感が合致しているのかな?と感じています。  
各議員の抱えている使命感が何なのか、市民に胸に沁みこむように伝わっていて、安心して市政を任せられるのか、今一つ明確に浮かんでこないのです。  
「頭から何も期待していない。」と言うとしかられますね。
- 行政に対して主体性、自信を持って処理にあたってほしい。市民に期待される議会をお願いしたい。
- 議会の活動が市民に直接伝わるために、選挙時に勝る活動をして下さい。  
TPP対策と勉強を始めて下さい。
- 市民からの意見を親身になって受け止めていただき、できるだけ要望がかなうようお願いしたい。
- 議員さんは一番身近な人と考えている。市民はさまざまな形で動いている、その動きをとらえる感受性を高めつつ、他地域(市町村)にも貢献できる動きをみせてほしい。
- 市民と行政とのかけ橋、様々な課題解決への道筋を明らかにして、市長とともに考えるそんなことに期待する。現時点において努力されていると思っている。今後さらに期待したい。
- 議事にもう一步踏み込んだ追及をして、内容の具体化、深化を図ってほしい。
- 地域の密着した事項について精査を深めるように。このような意見交換会は良いと思いますが、パフォーマンス的になっていないか心配です。

## 竹田西部（玉来・松本・菅生）地域

平成25年11月11日(月) 午後7時～

参加議員



阿部 雅彦  
(班 長)



佐田 啓二



鷲司 英彰



渡辺 克己



坂梨宏之進



加藤 正義



菅生農村環境改善センター

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
職員数の状況は。	竹田市では、合併後、行財政改革により定数の削減に取り組んでいます。その結果、平成17年度市町合併時の職員数は522名でありましたが、これまで112名削減し、今年度の職員数は、計画目標420名に対し、410名となっています。地方公共団体の職員数

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
	<p>は、山積する地域課題の解決や超高齢社会の到来など様々な行財政需要に左右されるものであり、多い少ないを画一的に判断できない面があると考えます。しかしながら、今後も新たな行財政需要の動向をはじめ、職員の年齢構成の平準化や退職職員の将来的推移を見極め、職員総数を抑制しつつ機構改革などの状況を踏まえ、適正な定数管理の監視をしていきたいと考えています。</p>
<p>市報などに農業に関する記事が少ない。イベントに偏りすぎていないか。 市には農業政策に対するビジョンがない。各地域の特性を考えた農業施策が必要ではないか。 市は農業振興策についてもっと真剣に考えてほしい。</p>	<p>現在竹田市では、施設園芸の萩、畑作の菅生、畜産の久住・直入と、地域の特性を考えた農業を推進していますが、これからは規模の拡大や高付加価値農業が模索されています。 従って、今後はTPP交渉結果をみながら国の政策を先取りして、各地域の特性を最大限に活かし、更に6次産業化をめざすなど、より高収益な農業経営を進めるよう議会として活動していきます。</p>
<p>農業政策に5カ年計画等あるのか。 竹田市が農業政策に力を入れていないのではないか。</p>	<p>竹田市農林業振興計画は、合併後の10年間の計画として、2006年から2015年の振興計画を2006年(平成18年7月)に策定しています。また、国などの現行施策に基づき、平成24年2月に中間見直しを行い、農業・農村の環境変化に対応し、持続可能な農林業の構築に向け努力をしているところです。現在、TPP交渉が行われていますが、その動向を注視し、大きく変わろうとしている国策に対応するため、更に新しい農業政策基本構想を定めるように市に要望していきます。</p>
<p>市は新規就農者に力を入れすぎていて、後継者対策が二の次になっているように見受けられるが、議会はどうとらえているか。</p>	<p>現在、市では地域農業を守るため国が実施中の「人・農地プラン」により新規就農者を求めています。現行の事業では後継者の親元就農に対しては難しい制度となっています。地域農業を守るため新規就農者等の確保も大事ですが、TPP交渉後の規模拡大・高付加価値農業経営者育成のためには、即戦力となる後継者に対する手厚い支援が必要であると思われます。規模拡大や高付加価値農業の実現を求めている後継者へ、強力な支援策が必要であると考えています。</p>
<p>国や県の補助金が、農家の隅々まで伝わっていないのではないか。</p>	<p>事業が多岐にわたり、それぞれ事業ごとに制度要件が違うため市報やケーブル放送による周知については限界があります。個々の要望に添った事業導入は担当課(農政課・農林整備課)に相談して下さい。</p>
<p>国道57号線菅生付近のメロディー道路がなくなった。議会の考えを問う。</p>	<p>竹田市到着時に市にゆかりのある曲を流すことは、歓迎の意を表す意味で非常に有意義だと考えます。しかしながら隣接する近隣住家への音の配慮も必要とのことで、少し離れた場所に移設しています。</p>

**【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています**

○町の方から参加したので、農業行政の事が分からなかった。これからは第1次産業についてお願いしたい。

**【問7「議会に何を期待していますか」の回答】**

○しっかりと執行部のチェック。他市町村と比較する中で、どの程度が適正であるのか?市民に分かり易く説明してほしい。

○時間が少ない。竹田市議員報酬が高い34万円、阿蘇市報酬少ない16万円(※実際は248,500円)。

竹田南部（入田・姫岳・宮砥）地域

平成25年11月13日(水) 午後7時～

参加議員



阿部 雅彦 (班 長) 渡辺 克己 日小田秀之 坂梨宏之進 加藤 正義 佐藤 美樹 鷲司 英彰



宮砥分館

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
<p>一般質問は通告制だが、もっと執行部と活発な議論をしてほしい、また、議論をその場で深めてほしい。</p>	<p>通告制の意義は質問内容を予め知らせることで、明確な答弁が得られることと、効率よく時間を使えることにあります。(質問、答弁を合わせ60分という時間制限がある。)</p> <p>活発な議論とその議論を深めるためには、質問者はできるだけ質問内容を明確に通告する。質問内容を通告することによって、執行部は質問に対する準備ができ、充実した質問戦を行うことができます。さらに、質問内容をより深く掘り下げることによって、執行機関に対し、執行部としての考え方や処理方針等について、説明または報告を求めています。</p> <p>また、議論を深める意味では、議会基本条例で「反問権」を執行部に付与しましたので、議員・執行部ともに十分な研鑽が求められます。</p>
<p>一般質問は重箱の隅をつつくようなものでなく、市政の発展につながる大きな視点で行うことを望むがどうか。</p>	<p>一般質問は、本来の質問型、追求型、政策提言型など様々な様態があると思います。したがって大所、高所からの政策提言型もよし、行政監視をする上においては細かいところまで追求する場面も必要であろうと考えます。議員の自主性と常識にゆだねるべきであり、統一的に規制することは、そぐわないと考えます。</p>
<p>ケーブルテレビでの再放送の回数は増やせないか。</p>	<p>一般質問当日は、生中継で放送しています。一般質問の再放送は、1週間後の月曜日から金曜日の午後8時からと午後9時から、それぞれ一人1回のみ放送しています。ご要望の回数については、担当課と協議の上2回放送を検討します。</p>
<p>議員の政務調査費が政務活動費となったのはなぜか。政務活動費をきちんと活かして、市政に反映してほしい。</p>	<p>24年度の法改正で「政務活動費」と名称が変更されました。内容は調査委託費や陳情・要望の経費が認められるようになりました。視察研修等については、事前に議長に対し計画書を提出し、事後に研修報告書の提出が義務付けられ、より透明性の確保が求められています。議員個々の議会報告や、研修により議員の質を高め市政に反映するなど、有効に活用するよう努めています。なお、竹田市は領収書の添付を義務付けています。</p>
<p>会派制について、これほど数があると議会運営にまとまりがなくなるのではないか。</p>	<p>政策を中心とした理念を共有した者で会派を作っています。メリットは会派での勉強会で議題について掘り下げた研究ができます。また、会派ごとに集約した検討結果は会派代表者会議において更に検討され、課題が整理され政策に反映できます。</p> <p>仁政クラブ5人、新生会4人、緑風会3人、新風会3人、清風会3人。</p>
<p>高齢化が進み、今、設置されている避難場所は遠く、避難しづらい適切な場所を考えてほしい。</p>	<p>竹田市の現在の指定避難所だけでは、防災避難体制として不十分であると認識しています。この件については、現在、従来の指定避難所とは別に、緊急時に一時的に避難することができる建物や場所の有無について、各自治会長に調査をお願いしています。そのような建物や場所が存在し、地震や風水害等の災害の種別に応じた基準に合致すれば、市として緊急避難場所として指定し、緊急時の一時的避難場所として利用できるよう整備を行なうこととしています。</p>
<p>買い物バスについて、停留所が少なく、高齢者には不便で、自治会長の世話も大変で</p>	<p>平成25年10月～12月まで5回の試験運行し、延べ59名の方が利用しております。当初、36人乗りの車両(バス)を使用しておりましたが、利用状況</p>

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
ある。移動販売事業者に委託してはどうか。	等を勘察した結果、1月からは19人乗りの車両に変更しました。運行するに当たっては各自治会や地区社協の役員に協力を戴いております。これは、見守り活動や市民支援、利用者の生の声を聴いていただくことも兼ねておりますので、ご理解をお願いします。また、移動販売業者への委託については、移動販売事業者へ燃料等の直接補助を行い実施できないか検討しましたが、「買い物弱者支援・見守り活動推進モデル事業」では、直接補助はできないとのこと。買い物バス利用者の方については移動販売車も利用しており、移動販売車で取り扱っていない品物を買物バスで購入する傾向にあります。社会福祉協議会の利用者アンケートの結果等を踏まえ、今後の対応を検討していくとのことでした。議会としては今回の試験運行の結果を踏まえ、今後の事業化に向けて検討していきたいと思っております。
神原の交差点の見通しが悪い。信号機の設置はできないか。	交通量から判断して信号機設置は厳しいものがあると思われま
高齢者世帯に安心ポットの配布がなされているが、同居家族がいても日中は高齢者が一人であることが多い。緊急時に備えて、全戸に配布してはどうか。	平成26年度・新年度予算案での計上は予定されていませんが、前向きに取り組みを進めたいと考えています。将来的には、市内全戸に配布する方向で取り組みます。
<p>体育センターが使用できずに大変不便である。体育センターを新築で併設するか、2階建てで体育館と文化ホールを建設してほしい。</p> <p>トレーニングジムや子どもの遊び場、温水プール等も総合的に検討してほしい。</p>	議会としては、執行部からの提案を受けて、その内容を精査します。また、議会内での議論もしっかり取り組み、市民の皆様からの要望事項や提言についても執行部へ伝えていきます。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

- プログラムで質疑応答とあるが、議会報告に対する質疑のみを考えており質問する機会を失いました。
- 合併後10年目以降交付税減が報じられています。歳入の5割を占める交付税が今後1～2割減になりますので、自主財源の乏しい竹田市にとって今は基金等に積み立金として残すべきと考えますが…。建設事業の投入はもっと計画的に行うべきでは…。このあたりの牽制機能の発揮を期待します。
- 11月11日合同新聞夕刊にて竹田駐在の記者の意見が出ていましたが、まさに意見を言えない者の代弁をしていると思いました。議会の役割に牽制機能とありますが、今の議会の状況を見ていると、その機能が発揮されていない感じがします。向こう2年以内に30億円の事業を集中して本当に大丈夫ですか？
- 開催時期について「次年度への政策提案etcに活かすため」と説明があったが、明確な根拠があり前向きな議会としての姿勢を感じた。議会報告会は今後も続けてほしい。
- 早期に文化会館を作ってもらいたい。竹田ダムの高さを低く？九電に交渉できないものか。市の職員の数ですが、人口の割合からすると多いのでは、勸奨でもしたら。
- 宮砥、姫岳地区の方たくさん参加していただくことに熱意を感じました。要望がたくさん出たので議会としても善処できるようにして下さい。
- 国民年金生活者の独居で生活している人、楽ではありません。働ける間は働いて生活の足しができるが、動けなくなった時のことが不安です。
- 先般NHKTVで「九州・沖縄の歌」という番組で「荒城の月」が放映されていました。もちろんバックは岡城でした。本当に素晴らしいものでして、NHKに問い合わせましたが再放送の予定はないとのこと残念です。竹田といえば岡城ですが、近年はなにかしよぼくれているように感じます。兵庫の竹田城のように、もっと竹田市は岡城を前面に出すべきです。各地であまりにもイベントが多すぎて竹田がPRできていないのが現状です。
- この竹田市、これから先、少子・高齢化率(特に高齢化)が高くなって、これから介護保険制度、老々介護、この先不安なことばかりです。5年後10年後の先を考えた、この先どうするかを考えた形をつくらないと、この先大変なことになると思われます。
- 吐合自治会で砂防工事が行われていますが、作業終了後、部落道の補修等を確認していただいて取り組んでもらいたい。出合のトンネル前の交差点に信号をつけていただきたい。災害時の避難場所を各自治会の公民館に決めてもらって、防災グッズ等を置いてもらいたい。テレビ等、ケーブル放送等を確立していただきたいです。

- 毎年開催要望。
- 意見・要望等については、貴重な一票を投じた市議を通じて申し述べたいと思います。また、詳しい事、議会等についてはケーブルテレビを視聴しております。

**【問7「議会に何を期待していますか」の回答】**

- 二元制の代表である市民の代弁者議員に牽制機能の発揮を期待します。
- 将来に亘り税金等安心して暮らせる状況を作ってください。
- このように出向いて意見を聞くことは良いことです。生の声を聞く。これからもお願いします。
- 監視機能を十分に。(市の職員数の適否を。)
- スピーディーな行政対応。特に文化会館については完成が3年後ということで、この3年間何もできないということでしょうか。竹田市を訪れる視察研修の皆様が、文化会館の現状を見て必ず行政の顔が見えないと言います。特に旧竹田市の議員さんは頑張ってください。竹田市のシンボルとしての文化会館が竹田市の中心部に絶対必要です。
- 地域振興のため執行部への積極的な働きかけを。

**竹田北部（宮城・城原）地域**

平成25年11月11日(月) 午後7時～

参加議員



徳永 信二 (班 長)   森 哲秀   本田 忠   日小田秀之   吉竹 悟   足達 寛康



宮城分館

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
意見交換会の開催時期を考えてほしい。また、もっと早く周知してほしい。	平成24年は4月に行いましたが、久住地域では田植えの繁忙期ということでした、25年度はその反省を踏まえ11月に行い、今度は畑作地帯から今が繁忙期だ、2会場では、TOP懇談会の直後だという声がありました。できるだけ地域の実情に配慮した時期ならびに時間帯についても検討いたします。また、周知については市報、議会だより、全世帯への文書配布、ケーブルテレビ、告知放送を行いました、それに加え分館長、自治会長にもお願いし地区住民に呼びかけていただくなど、できるだけ多くの皆様に参加いただくよう早目の周知徹底を図ってまいります。
県道白丹竹田線の進捗状況を問う。	全体の進捗率40%(延長ベース)で未改良部分が2カ所あります。その内の添ヶ津留地区(残L=1,220m)は現在実施中であり、今後工期が5～6年必要とされています。 飛田川地区(残L=882m)は現在用地交渉中ではありますが、着手できる時期については未定です。
農地災害40万円未満の復旧工事手続きを問う。	竹田市農地等単独災害復旧事業要綱により速やかに申請をして下さい。(担当課は農林整備課)
イノシシの対応に鉄柵など全体的に行なう補助事業はないか。	交付金事業として「鳥獣被害防止総合対策事業」があります。地元施工の場合は材料が支給されることになります。但し、要望地区が多い場合や、広範囲に柵を設置する地区については、事業完成までに数年を要する事があります。担当課(農政課)に相談をお願いします。
道路に竹などが出て通行に支障がある。自治会で伐採も難しい。道路の維持管理を市でしてほしい。	竹田市の市道の管理は、その管理区域内は市で実施することになっています。集落で管理している農道・里道は全体延長が非常に長いため、その全てについて市で管理することは予算的に難しいと思われ、集落の高齢化等で維持管理が難しいなど事情のある集落については担当課(建設課)と相談をして下さい。



意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
農業振興について市議がもっと勉強して、今後の取り組みを提言してもらいたい。	大きく変わる国の農業政策に対応するため、議会全体や議員自らが研鑽を積み、その結果を代表質問や一般質問を通じて提言・提案をしていきます。
地域にはなくてはならない「宮城温泉出会いの湯」の維持管理が燃料の高騰により難しくなっている。何らかの対応はできないか。	公営の施設ではないので特別な場合を除き、市としての支援はできません。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

○若者が定住できるような地域作りのビジョンを示せる勉強をして貰いたい。

【問7「議会に何を期待していますか」の回答】

○議会の役割、権限を文字どおりに十二分に発揮してほしい。

○農業の現状維持・衰退しないように。

○更なる活動を期待致します。議員が減少されましたが、議員の奮闘している姿が分かります。本当に頑張ってください。

荻地域

平成25年11月12日(火) 午後7時～

参加議員



徳永 信二 (班 長) 山村 英治 後藤 憲幸 坂梨宏之進 森 哲秀 本田 忠



荻公民館

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
意見交換会の回数を増やしてほしい。また、テーマを絞って行ってはどうか。	回数については、当面は年1回開催としますが、検討します。テーマについては、市全体の主要な案件並びに、地域が抱える主要なテーマや問題に特化して議論を深める方法を検討します。そして、実行する中で状況を見ながら回数についても検討してまいります。
議員報酬は引き下げないのか。 議員報酬について、前期は3%カットし、さらに政務調査費も減額している。職員もカットしている。議員も早急に検討しては。	議員報酬(一般議員34万円)については、合併時の28議席から22議席、18議席と8年間で10の定数減を行い、総体では36%の予算縮減に取り組んできました。議員年金は廃止、その上での減額は新たな人材の出馬が期待できないなどの理由により、現行を維持することとしました。
議会の一般質問を見ているが、同類の質問がある。議会運営委員会で検討、調整ができないのか。	質問が重複した場合は、議長から質問者に連絡をして質問の変更や重複しないよう角度を変えて行うよう要請しています。議員個々の考え方や立場があり規制することはできませんが、議員の意識はその方向に改善しつつあります。
国営大蘇ダム事業で、用水利用にかかる電気料等負担軽減はできないか。 追加工事実施中の灌漑時期(代かき時期)に通水はできないか。	用水の供給受益地が広がることにより、加圧に対しての電気料は増加します。地元負担の軽減として、国の補助事業の継続や自然エネルギー事業への取組を執行部と要望していきます。 国営ダムの早期完成のため畑かんへの送水はしますが、水田への送水は行われません。
荻支所移転の話があるが、農政課の担当部署と、JAの営農部署が入れるように合併はできないか。	現時点ではできないものと思われます。指導機関としてのJAと行政組織との緊密な連携が保てるように進めます。
中九州高規格道路は、荻町を通る計画になっているが、バイパスをふくめ検討	合併前の旧荻町の強い要望をもとに計画区間に組み込まれ、調査区間になっています。現時点ではこの方針を継承しながら事業実施

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
が必要ではないか。	に向け推進をしていきます。今後とも地元の農業振興の要として、企業誘致や6次産業化等地域振興への大きな呼び水になることから早期完成を目指します。

**【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています**

- 政務調査費減、職員は来年まで、議会は?
- 市が実施するアンケート調査について  
アンケートに回答してもフィードバックが全くないは良くない。最近の例でいえば、6月2日の防災避難訓練の際のアンケートに「要望」という項目があったので、これにAEDの設置を検討してほしい旨を記入したが何の回答もない。「金がないので要請には応じられない」とハッキリ言われた方がよほど気持ちが良い。フィードバックが全くないのはアンケート自体が形式的にやっているだけで、アンケート調査の結果を活用しようという事は全く頭がないのでは?と思ってしまう。市当局に対しアンケートをとるなら、結果まで真面目に取り組むように申し入れて下さい。
- 議員の皆様には地区の代表となっています。車で通るだけでなく一人の地区の人がいれば声をかけて下さい。老人の意見、若い人の意見も違うと思います。回りをよく見て、地区の人の生活を見て下さい。
- 荻支所とJAとの連絡(農業関係)は必要だと思います。場所と職員の配置(ある程度の知識者)はしっかり考えた方向にお願いしたい。
- とても貴重な機会に参加者が少なく残念です。

**【問「議会に何を期待していますか」の回答】**

- 本日出された事項を議会とし早く解決して下さい。
- 市民の意見を参考に行政に生かしてほしいと思います。
- 観光では飯が食えない。農業と森林の整備などが急務。里山保全と森林資源の活用を早急に進めてもらいたい。
- まだまだ話をしたいようにあります。
- 竹田の発展のために頑張ってもらいたい。
- 意見交換会は良いと思います。(参集範囲が職員と市民4,5人のため)提案させていただきます。地区(荻、久住、直入、竹田)で分けてするのであれば内容を2,3点にしぼり、議員報告会というような形式で市民との充実した意見交換会を行ったらどうでしょうか。
- 支所機能が今後住民の生活にどのように影響するのか心配です。  
特に保健師などの住民にかかわりのある職種は増やす検討して下さい。
- 市の進む方向は市長の行う政策によるところが大きいので、その政策が暴走しないように注視してほしい。(投資的事業が目立つから)
- 市民の声を市政に反映し、住みよい竹田市を作るよう一緒に検討していく大切な役割だと思います。現状の課題及び将来的な推測を持ちつつ、今何が必要かを基に活動していただければと思います。

**久住地域**

平成25年11月12日(火) 午後7時～

参加議員



阿部 雅彦 (班 長) 鷺司 英彰 吉竹 悟 足達 寛康 中村 憲史 日小田秀之



久住公民館

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
代表質問と一般質問の違いは何か。また、同一内容の一般質問が見られるが、内容を絞れないか。	代表質問は、3月議会での市長の所信表明演説を受け、会派の代表が関連する市政の根幹に関わる事項について質問します。 一般質問は議長に通告することになっています。質問が重複した場合は、議長から質問者に連絡をして質問の変更や重複しないよう角度を変えて行うよう要請しています。議員個々の考え方や立場があり規制することはできませんが、議員の意識はその方向に改善しつつあります。

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
意見交換会の回数を増やしてほしい。また、テーマを絞って行ってはどうか。	回数については、当面は年1回開催としますが、検討します。テーマについては、市全体の主要な案件並びに、地域が抱える主要なテーマや問題に特化して議論を深める方法を検討します。そして、実行する中で状況を見ながら回数についても検討してまいります。
一般質問は重箱の隅をつつくようなものでなく、市政の発展につながる大きな視点で行うことを望むがどうか。	一般質問は、本来の質問型、追求型、政策提言型など様々な様態があると思います。したがって大所、高所からの政策提言型もありましょうし、行政監視をする上においては、細かいところまで追求する場面も必要であろうと考えますので、統一的に絞り込むことはそぐわないと考えます。
過疎化による人口減に対して、市税や交付金減に伴う今後の財政運営について、議会としての考えはあるのか。また、その対策は。	市税・交付税の収入が減少している中、財政状況を見極めながら市政を運営していかなければなりません。ただ、一方で、地方交付税の合併算定替えによる優遇措置が、平成28年度から平成32年度にかけ段階的に廃止されることになっており、平成33年度には一本算定になります。結果として、現時点と比較し20億円前後の交付税が減額されます。今後は施設などを見直し、無駄をなくすための努力をしていく必要があります。
ケーブルテレビでの再放送の回数は増やせないのか。	一般質問当日は、生中継で放送しています。一般質問の再放送は、1週間後の月曜日から金曜日の午後8時からと午後9時から、それぞれ一人1回のみ放送しています。ご要望の回数については、担当課と協議の上2回放送を検討します。
久住地域では、イベントが少ないように思うが。	久住地域では、年間を通して、観光振興や地域コミュニティー形成を図る事を目的に、グライダー山岳滑翔大会・久住高原の唄・牛肉まつり等多くの行事イベントを行っています。決して他地域と比べ少なくないと考えています。
支所の職員数が少ないのではないのか。	竹田市の職員定員管理計画により、現在の支所職員が配置されています。行財政改革により職員数の削減が図られており、これからは特別な状況がないかぎり職員減は避けて通れないと考えています。
イノシシを初めとする獣害対策をしっかりとやってほしい。	現状では、電柵、箱わな、フェンスを設置する事業がありますし、捕獲猟師に対しては、捕獲意欲の向上を図るため捕獲奨励金制度(イノシシは狩猟期間内6,000円/1頭、シカは年間を通じて10,000円/1頭)があります。地域が高齢化するなか、年ごとに増える獣害を減らす有効な手段について、執行部と一緒に考えていきます。
久住サンホールは市内中心部より離れていることと駐車場の問題もあるので、早期の文化会館の再建が必要ではないか。	議会としては、執行部からの提案を受けて、「主要公共施設調査特別委員会」を設置し、提案内容を精査します。また、議会内の議論をしっかり行い、市民の皆様からの要望事項や提言についても執行部へ伝えていきます。
竹田市文化会館が使用できない影響について、どのくらい問題を把握しているのか。	生涯学習課が実施した市民アンケート結果を基にして、竹田市文化会館の再建に向けた取り組みに生かしていきます。

**【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています**

- 18名という少人数ですが、議会の会派が多すぎるのではないかと。議員各位の考えもあると思うが再考してみる必要があると思う。
- 周辺久住地域は他の荻・直入地域に比べイベント数も少なく、停滞傾向にあることをTCT等を通じて感じます。地域の課題意識をもとに、次回の意見交換会の開催ができるよう…。
- 参加人数が少なかったのが残念でした。

**【問7「議会に何を期待していますか」の回答】**

- 竹田市発展のため市執行部と協議を多くし市民のため頑張ってもらいたい。
- 合併によって周辺地域となった久住地域に課題はないのか。市政に対する関心もないのか、出席者はわずか10名。
- 今後にあつては執行部とコラボで市民の集まる会合(意見交換会)の企画を期待します。
- 高齢化率の高い竹田市では何かと大変なことが多いと思いますが、安心して一人暮らしができるような市政をお願いいたします。

- 市の財政が悪化しないよう、執行機関の行う行政運営に監視をしていただきたい。
- 市民の意見を吸い上げて、住みよい竹田市になるように努力をしてほしい。

## 直入地域

平成25年11月12日(火) 午後7時～

参加議員



岩屋 千利  
(市長)



佐藤 美樹



渡辺 克己



佐田 啓二



加藤 正義



和田 幸生



直入支所大会議室

意見・質問等	意見・質問等への対応(担当課の回答がある場合は「」で囲んでいます)
代表質問と一般質問の違いは何か。また、同一内容の一般質問が見られるが、内容を絞れないか。	代表質問は、3月議会での市長の所信表明演説を受け、会派の代表が関連する市政の根幹に関わる事項について質問します。 一般質問は議長に通告することになっています。質問が重複した場合は、議長から質問者に連絡をして質問の変更や重複しないよう角度を変えて行うよう要請しています。議員個々の見方や立場があり規制することはできませんが、議員の意識はその方向に改善しつつあります。
議員の政務調査費が政務活動費となったのはなぜか。政務活動費をきちんと活かして、市政に反映してほしい。	24年度の法改正で「政務活動費」と名称が変更されました。内容は調査委託費や陳情・要望の経費が認められるようになりました。視察研修等については、事前に議長に対し計画書を提出し、事後に研修報告書の提出が義務付けられ、より透明性の確保が求められています。議員個々の議会報告や、研修により議員の質を高め市政に反映するなど、有効に活用するよう努めています。なお、竹田市は領収書の添付を義務付けています。
ケーブルテレビで議会中継が見られるようになって良かった。議会を身近に感じるようになった。より多くの方に見てもらえるように放送回数を増やしてはどうか。	一般質問当日は、生中継で放送しています。一般質問の再放送は、1週間後の月曜日から金曜日の午後8時からと午後9時からそれぞれ一人1回のみ放送しています。ご要望の回数については、担当課と協議の上2回放送を検討します。
防火水槽の設置基準は、地区の住宅数や山林に近い住宅などで基準が変わるのか。	国が示す基準は、大きな都市の市街地では、人口あるいは面積で設置基準が定められていますが、竹田市を含むその他の地域では防火対象物の周囲の条件や防火対象物の数などでは特に基準はありませんが、基本的には用地の無償提供等が前提となっています。
まだ申請をしていない被災箇所がある。その把握を竹田市はしているか。	災害申請にあたってはいろいろな機会を捉えて周知を図ってきました。災害工事は申請事業であるため復旧意思のある農家の、被災箇所についての申請漏れはないものと考えています。
水田部分の畔が残り、法面が崩落した被災場所の災害申請はできるか。	現在の査定では、法面だけが被災し水田として水を溜める機能がある場合の採択はかなり制限されます。また被災年度の異なる被災箇所の申請はできません。詳しくは担当課(農林整備課)にお尋ねください。

【会場アンケートから】※原文のまま掲載しています

○議会中継があり大変ですが期待しています。

### 【問7「議会に何を期待していますか」の回答】

○市民の代表として、市政が良い方向にいくようお願いしたい。

## 平成26年 第1回臨時会(平成26年1月23日)

### 議案等の議決結果

議案第1号	平成25年度竹田市一般会計補正予算(第8号)について	全会一致可決
-------	----------------------------	--------